

方部出張型政策研究会 TopicsNo.5

第5回政策研究会〈令和元年11月19日 県白河合同庁舎〉

政策研究会の活動も後半に入りました！

第4回政策研究会までは知識を深めるための学びの活動を中心に活動を行いました。第5回政策研究会からいよいよ心豊かな将来像を実現するためには、「どういう政策が必要か」、「行政はどうあるべきなのか」、を実際に検討していく活動に入っていきます。

第5回政策研究会は、当初10月の開催を予定しておりましたが、台風19号の影響により、福島県内も大きな被害が発生し、災害対応に従事した研究員もいたため、活動を1ヶ月延期しての開催となりました。

今回は、まず、第4回の宿題として取り組んだ「現状把握」について各グループで共有し、その後、新しい価値、県南らしさを持った心豊かな将来像（コンセプト）について議論しました。



午後からは、午前中の議論をもとに、前回東京都市大学の古川教授に御指導いただき取り組んだ「システム図」を作成しました。



「システム図」には、将来像の概要や課題、ひと、もの、金、価値の移動により得られる心の豊かさ、将来像（コンセプト）を実現するために必要な施策等を描いていきます。

新しい価値観、県南地域らしさを持った将来像（コンセプト）はどのようなものか、それを実現するためのシステムはどういうものかを考えました。

システムの概要を考えていくと、必要な政策が見えてきます。

各グループとも、活発に意見交換を行い、システム図の作成に取り組んでいました。



次回は、各グループが描く県南地域の心豊かな将来像を実現するための自治体の役割は何か、必要な政策、提案する施策について議論し、提案書にまとめる活動を行う予定です。